

まるで真珠の透明感

「五ヶ所小梅」順調

・重伊勢
三JA



【三重・伊勢】南伊勢撰果（せんか）場で勢町にあるJA伊勢南14日、「五ヶ所小梅」

の出荷が始まった。出荷は6月3日ごろまで続く予定

手作業で慎重に選別される「五ヶ所小梅」

で、約23トを出荷する見込み。JA全農みえが運営するインターネットショッピングサイト「JAタウン」や、県内の量販店で販売され、消費者の手元へ届く。

「五ヶ所小梅」は真珠のような透明感がある果色が珍重され、「真珠小梅」とも呼ばれる。種が小さいため果肉が厚く、実も柔らかい。果肉が傷まないよう、収穫から選別は全て手作業で慎重に行う。三

重の伝統果実に登録されている他、2010年度には県内の個性的でビジネス価値のある農林水産資源として「三重のバイオトレジャー」に選定された。

本年度産の出来について、同JA梅部会の中西博道部会長は「春先に温暖な日が続いたため、生育は順調」と話す。

同JA管内では、部会員32戸が約3・2畝で「五ヶ所小梅」を栽培している。